

ネイチャー・ウォーク

平成 26 年 11 月号

2014. 11. 30 発行

(通巻第 251 号)

公益財団法人
ECO SAITAMA 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

見沼たんぼハイライトコース今昔物語

シバらしく見ぬまにかウったよ！

(JR 東浦和駅～さぎ山記念公園)



10 月 26 日、食欲の秋？芸術の秋？
ネイチャーウォークの秋！35 名が東浦
和駅に集合しました。

この日は、「ネイチャーウォーク誌」通
巻 250 号記念として創刊号（復刻版）
が配られました。この中の記事にも同じ
見沼たんぼのコースのレポートが載っ
ていますよ。さあ、あの頃と変わったとこ
ろ、変わらないところ、見比べながら進
みたいと思います。



発行日はなんと 1994 年！



協会の 20 年以上前のグッズを背
負ってきてくれた方もいました



通船堀沿いを出発です



見沼通船堀は江戸時代には運河として活躍しました。昭和初期以降、船が通ることはなくなり、今はカモたちの通り道になっていました。

通船堀は芝川に合流し、一行も芝川沿いに進路をとります。芝川にかかるこの橋は20年前もあったとのお話もありました。



芝川第一調節池に入ると、さっそく鉄塔にとまるハヤブサを発見しました。また、事務局の岩井さんから調節池の役割や生きものへの配慮について説明がありました。最後にミサゴの急降下も見られました。

20年前には完成していなかった調節池、今後さらに生きものがたくさんやってくるようになるといいですね。



見沼自然の家で休憩です。一日主の方にごあいさつしたり、ホトトギスの花やクサギの実を眺めたりしました。

20年前はここでお昼休憩にしたようですが、今回はもう少し先の大崎公園まで進むことにしました。

当協会では、日曜祝日に見沼自然の家を1日管理してくださる方を募集しています。一日主にご興味のある方は事務局まで。Tel 048-645-0570



お昼の後は恒例のWalk 出現認定証授与式。今回は3名の方に20回目・10回・10回の認定証と豪華な粗品を贈りました。おめでとうございます！



午後の部は、見沼の竜の伝説が残る国昌寺、見沼代用水の素掘りの区間が残る見沼の原風景を眺めながら、ゴールの見沼自然公園を目指しました。以上、「見沼田んぼ」の魅力が盛りだくさんのコースでした。皆さんお疲れ様でした。